

# 農林水産政策改革の進捗状況（全体版）

### 農林水産物・食品の輸出促進

輸出額：2012年からの7年で倍増

↓

新たな輸出目標 5兆円を策定

↓

品目別の輸出目標等を設定する新たな戦略を策定し、スピーディーに実行

### 農地集積

担い手への農地集積率（目標：2023年8割）  
48.7%（2013） → 57.1%（2019）

↓

目標に向けては、農地バンクと地域農業の関係者間の連携強化が不可欠

↓

人・農地プランの見直し（関係者が一丸となる仕組みの導入）による農地集積推進

### 農協改革

**規制改革対応**

- 農業者の所得向上のための体制づくり（理事の過半を販売・経営のプロとする仕組みの導入等）：**対象農協 全てで実施**
- 大型トラクターや肥料の価格：**1～3割引下げを実現**

↓

小売・製造業者などへの直接販売を未実施の農協が2割程度残っているなど、更なる取組強化が必要

↓

引き続き、JAグループの**自己改革を促進**

### 米政策改革

主食用からの作付転換はあまり進んでいない。

↓

輸出用や野菜等の高収益作物への更なる転換が不可避

**規制改革対応**  
農産物検査規格の見直しについて対応中。

↓

① コメ・コメ加工品輸出（52億円(2019)→125億円(2025)）  
② 加工・業務用野菜などの高収益作物の生産に取り組む産地の計画的育成（179産地(2020.9)→500産地(2025)）

### 農泊・ジビエ

農泊地域数：3年で2.7倍、ジビエ利用量：3年で1.6倍

↓

農泊：古民家等利用、Wi-Fi対応等の向上が課題  
ジビエ：個体利用、未利用部位使用の向上が課題

↓

**各省連携**

農泊：古民家等の整備、Wi-Fi対応等を支援  
ジビエ：新目標、ジビエフル活用に向け対策を強化

### 森林・林業改革

国産材供給量：10年で72%増加

↓

**各省連携**  
市町村等への委託拡大、CLT利用拡大、輸出が課題

↓

改革を一層推進し、それぞれの取組を加速化

### 水産改革

生産量減少（直近10年で2割減）の歯止めが急務

↓

IQの導入等の新たな資源管理システムの構築、養殖業の成長産業化が課題

↓

**規制改革にも対応**

2030年生産量4割増目標に向け、  
資源管理：ロードマップ（9月策定）に沿って着実に推進  
養殖：品目別の生産量目標等（7月設定）に沿って生産・輸出拡大等を着実に推進

